

累積会員 43 万人、日本最大級のグローバル人材データベースを保有する Daijob.com 調べ

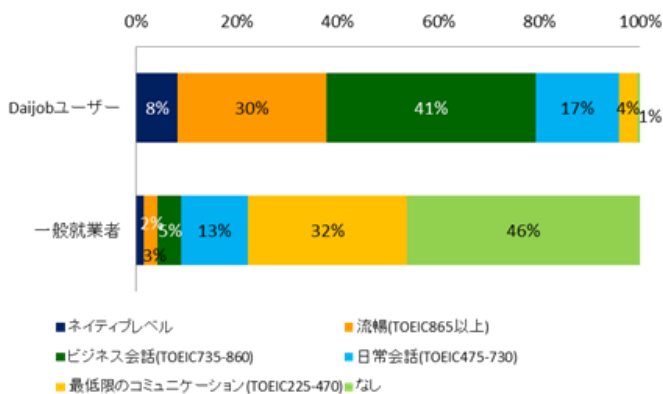
～2014 年上半期転職動向調査～

一般就業者(20-49 歳)比較により「英語力」「海外赴任、留学経験」で違いが顕著。

ヒューマンホールディングス株式会社の事業子会社で、バイリンガルのための転職・求人情報サイト Daijob.com を展開するダイジョブ・グローバルリクルーティング株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役:篠原 裕二)は、Daijob.com に登録しているユーザーを対象に 2014 年上半期転職動向調査を行いました。今回は、「英語レベル」「現在もしくは直近の勤務企業タイプ」「転職回数」「転職動機と転職先の決め手」「転職の経路」「転職後の年収の増減」「海外赴任、または留学経験の有無」「休日の過ごし方」と 8 項目について、インターネット調査にて回答があった 20 代から 40 代の会社員(一般就業者)との比較を行いました。

◆ 調査結果サマリー

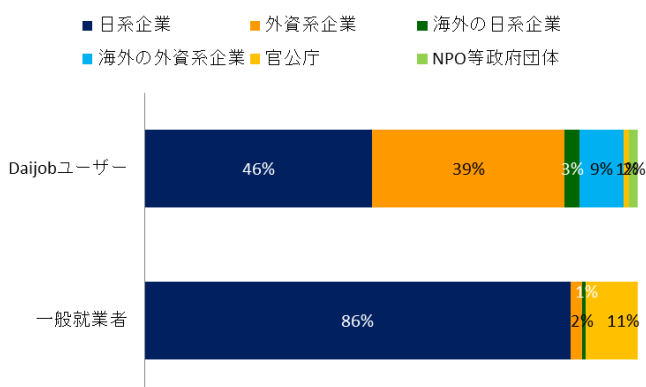
英語レベル



Daijob ユーザーの 79%がビジネス会話レベル以上であるのに対し、一般就業者ではわずか 10%!

Daijob ユーザーのうち 41%がビジネス会話レベル、次いで 30%が流暢、17%が日常会話と続く。一方、一般の就業者では英語力なしという回答が約半数の 46%、次いで最低限のコミュニケーションが 32%。Daijob ユーザーの 79%がビジネス会話レベル以上であるのに対し、一般の就業者ではわずか 10%という結果になりました。

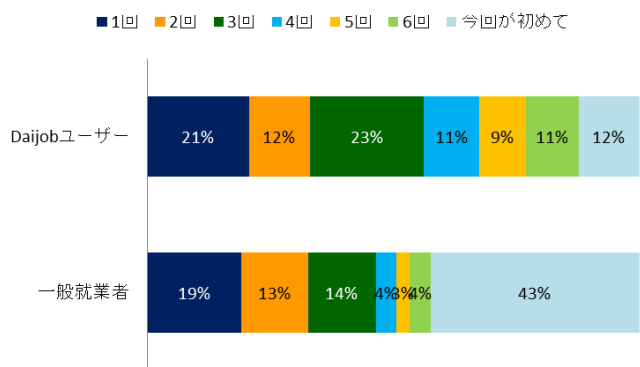
直近の勤務先の企業タイプ比較



英語レベルの違いによる直近の勤務先の企業タイプの比較

Daijob ユーザーの 46%が日系企業に勤務しており、39%が外資系企業に勤務。日系企業、外資系企業に限らず海外勤務者は 12%。一般の就業者は 86%が日系企業に勤務しており、外資系勤務者はわずか 2%、海外勤務者は 1%。

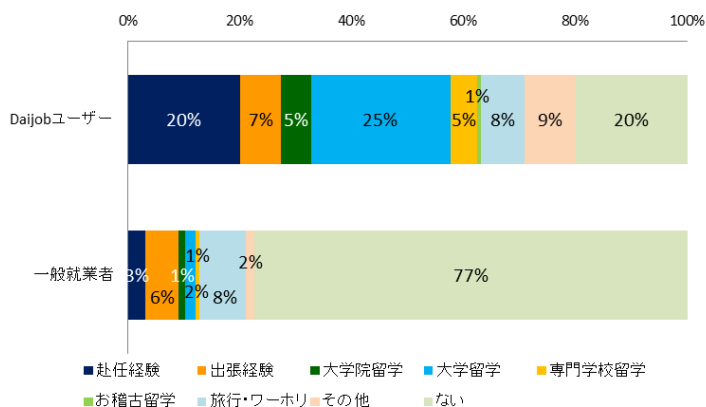
これまでの転職回数比較



英語レベルの違いによる転職回数の比較

Daijob ユーザーと一般の就業者を比較してみると、Daijob ユーザーは3回が一番多く23%、次いで1回が21%、2回12%に対して、一般の就業者は今回が初めてという回答が最も多く43%次いで1回が19%、3回が14%となりました。

海外在住経験の比較



英語レベルの違いによる海外在住経験の比較

Daijob ユーザーで最も多かったのが「大学留学」で25%、次いで「赴任経験」20%という結果に対し、一般の就業者77%は「経験なし」と回答しました。

【アンケート概要】

外資系・日系グローバル企業に転職をしたいと考えている Daijob.com ユーザーの特性を明らかにするために、以下の8項目に関して、一般の就業者との比較を実施。

- ①「英語レベル」
- ②「現在もしくは直近の勤務状況」
- ③「転職回数」
- ④「転職動機と転職先の決め手」
- ⑤「転職の経路」
- ⑥「転職後の年収の増減」
- ⑦「海外赴任、留学経験の有無」
- ⑧「休日の過ごし方」

調査の対象

- A. Daijob.com ユーザー
 日本国籍 男女 169名 (Daijob.com サイト上でのアンケート調査)
 ※日本国籍+外国籍 男女 436名に本調査を実施後、上記条件にて集計
- B. 一般の就業者
 日本国籍 男女 300名 20-49歳 (インターネット調査による)

調査の期間

2014年5月～2014年6月

■会社概要■

ダイジョブ・グローバルリクルーティング株式会社

- 代表者 : 代表取締役 篠原 裕二
- 所在地 : 東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿木村屋ビル
- 事業内容 : バイリンガルに特化した就職・転職の求人広告事業
- 資本金 : 1,000万円
- ホームページ URL : <http://corp.daijob.com/>
- 運営サイト : <http://www.daijob.com>

■事業に関するお問い合わせ■

ダイジョブ・グローバルリクルーティング株式会社 事業推進室

TEL : 03-5925-6543 FAX : 03-6894-7005 Email : daijobhrclub@daijob.com

■本件に関するお問い合わせ■

ヒューマングループ 広報担当

TEL : 03-6388-0108 FAX : 03-6846-1220 Email : kouhou@athuman.com

2014 年上半期転職実態調査

ダイジョブ・グローバルリクルーティング株式会社

2014/8/1

目次

1. 調査の概要	2
1-1. 調査の趣旨	2
1-2. 調査の対象	2
1-3. 調査の期間	2
1-4. 調査の項目	2
2. 調査回答者属性	3
3. 調査結果	5

1. 調査の概要

1-1. 調査の趣旨

外資系・日系グローバル企業に転職をしたいと考えている Daijob.com ユーザーの特性を明らかにするために、以下の8項目に関して、一般の就業者との比較を行った。

- ① 「英語レベル」
- ② 「現在もしくは直近の勤務状況」
- ③ 「転職回数」
- ④ 「転職動機と転職先の決め手」
- ⑤ 「転職の経路」
- ⑥ 「転職後の年収の増減」
- ⑦ 「海外赴任、留学経験の有無」
- ⑧ 「休日の過ごし方」

1-2. 調査の対象

A. Daijob.com ユーザー

日本国籍 20-49歳 男女 169名 (Daijob.com サイト上でのアンケート調査)

※日本国籍+外国籍 男女 436名に本調査を実施後、上記条件にて集計

B. 一般の就業者

日本国籍 20-49歳 男女 300名 20-49歳 (インターネット調査による)

1-3. 調査の期間

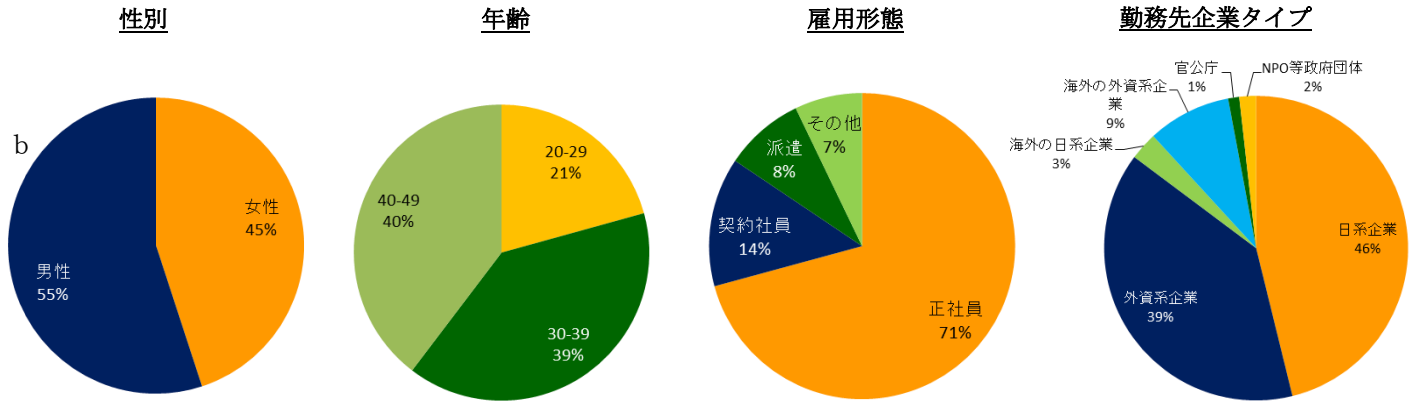
2014年5月～2014年6月

1-4. 調査項目

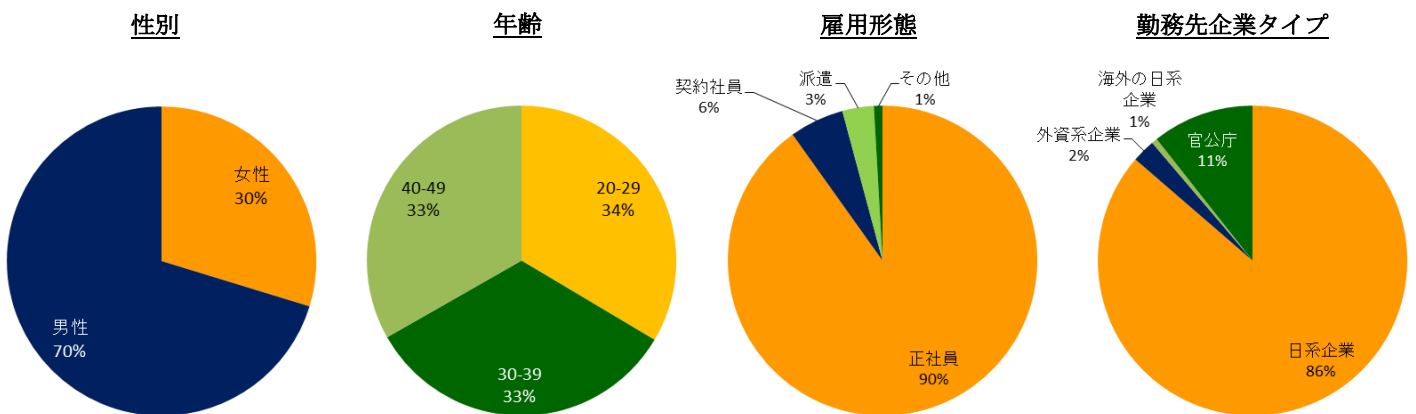
調査対象者の属性を単純あるいはクロス集計

2. 調査回答者属性

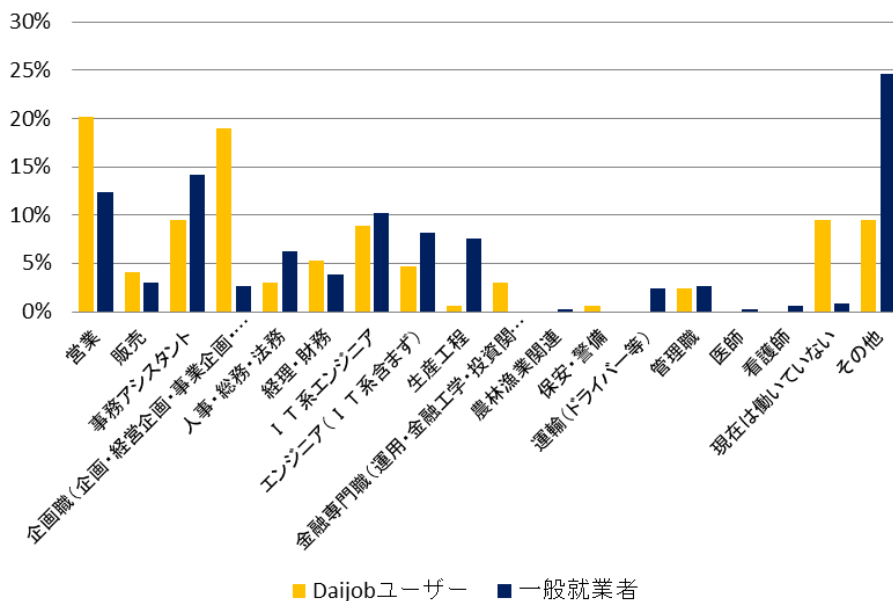
【Daijob ユーザー】



【一般の就業者】



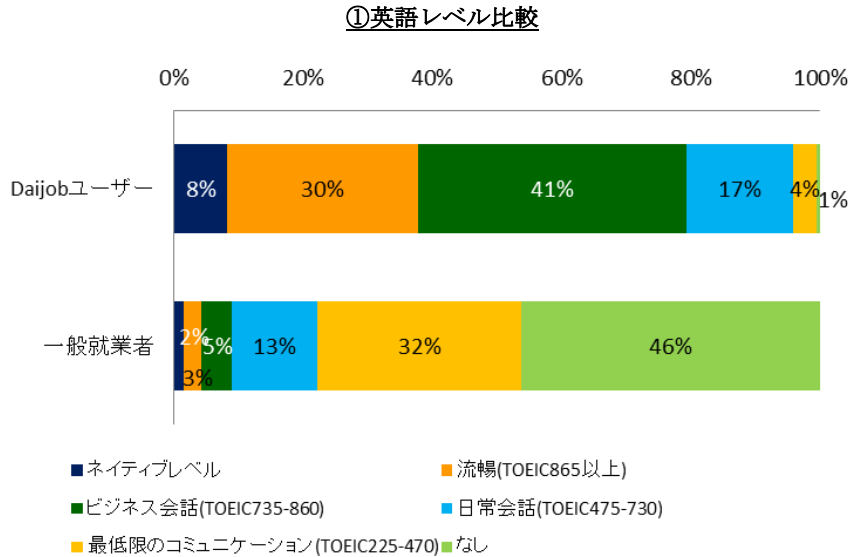
直近の職種比較



3. 調査結果

①英語レベル比較

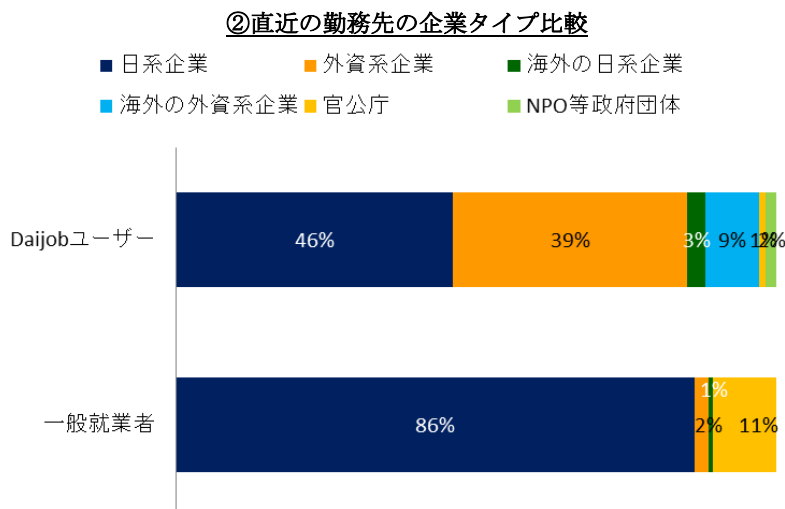
Daijob ユーザーの 79%がビジネス会話レベル以上であるのに対し、一般就業者ではわずか 10% !



Daijob ユーザーのうち 41%がビジネス会話レベル、次いで 30%が流暢、17%が日常会話と続く。一方、一般の就業者では英語力なしという回答が約半数の 46%、次いで最低限のコミュニケーションが 32%。Daijob ユーザーの 79%がビジネス会話レベル以上であるのに対し、一般の就業者ではわずか 10%という結果となった。

②現在もしくは直近の勤務状況

Daijob ユーザーの 51%が外資系企業、もしくは海外勤務。一般の就業者ではわずか 3%に留まる。

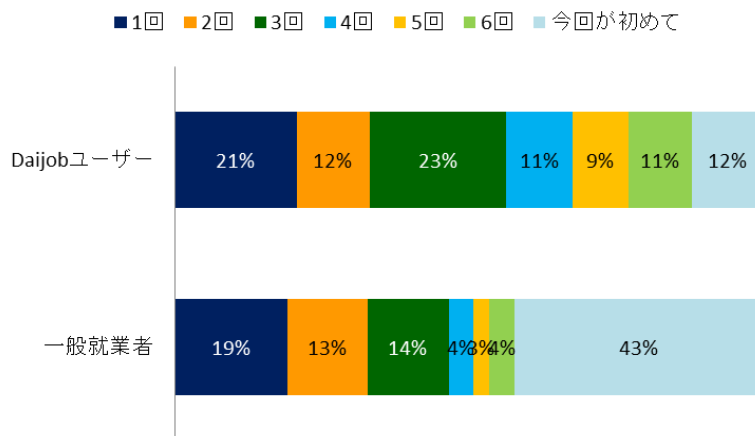


Daijob ユーザーの 46%が日系企業に勤務しており、39%が外資系企業に勤務。日系企業、外資系企業に限らず海外勤務者は 12%。一般の就業者は 86%が日系企業に勤務しており、外資系勤務者はわずか 2%、海外勤務者は 1%。

③ 転職回数

Daijob ユーザーと一般の就業者を比較してみると、Daijob ユーザーは3回が一番多く23%、次いで1回が21%、2回12%に対して、一般の就業者は今回が初めてという回答が最も多く43%次いで1回が19%、3回が14%であった。Daijob ユーザーの内88%が少なくとも1回以上は転職を経験しているのに対し、一般の就業者は57%と31%も低い結果となった

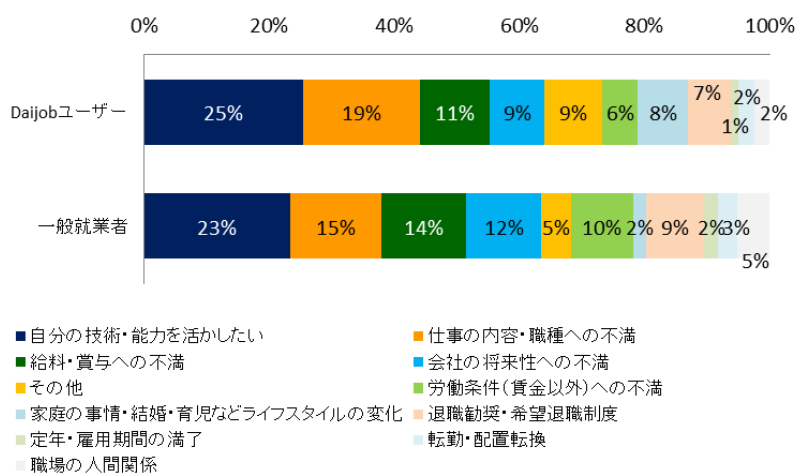
③これまでの転職回数比較



④ 転職動機と転職先の決め手

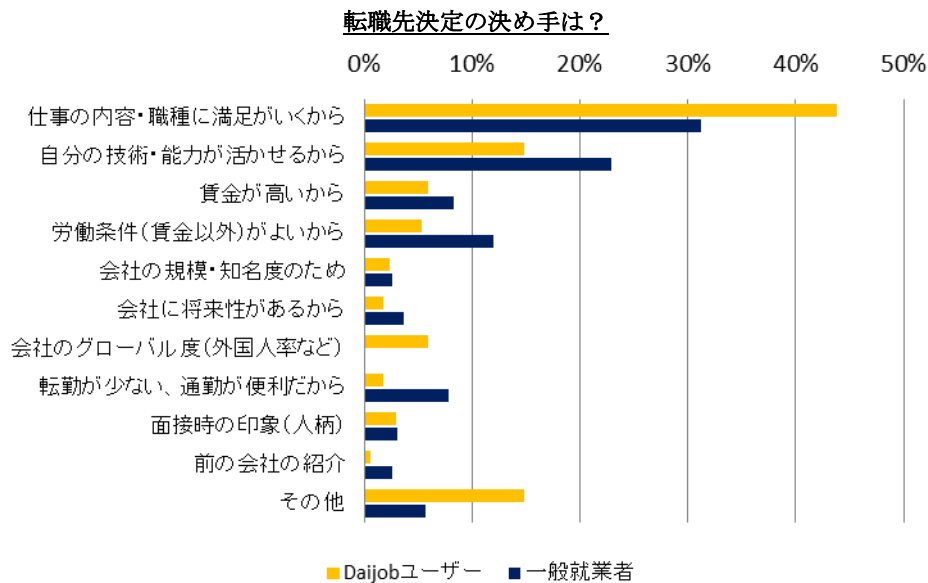
Daijob.com ユーザーが転職を考えるようになった主なきっかけとしては「自分の技術・能力を活かしたい」が25%で最も多く、次いで「仕事の内容・職種への不満」が19%、「給与・賞与への不満」が11%と続く。また、Daijob ユーザーは「家庭の事情・結婚・育児などライフスタイルの変化」が比較的高く、一般の就業者は「労働条件（賃金以外）への不満」や「会社の将来性への不満」をきっかけに上げるものが比較的多い。

④転職動機の比較



Daijob ユーザーに転職先の決め手を尋ねたところ、「仕事の内容・職種に満足がいくから」が一番多く44%、「自分の技術・能力を活かせるから」が15%、「賃金が高いから」、「会社のグローバル度（外国人率など）」が6%で3番目となった。これに対して一般の就業者の転職先決定の決め手としては「仕事の内容・職種に満足がいくから」が一番多く31%、「自分の技術・能力を活かせるから」が23%、「労働条件（賃金以外）がよいから」が12%で3番目となった。転職先決定の決め手としては多岐に渡る回答が得られたが、

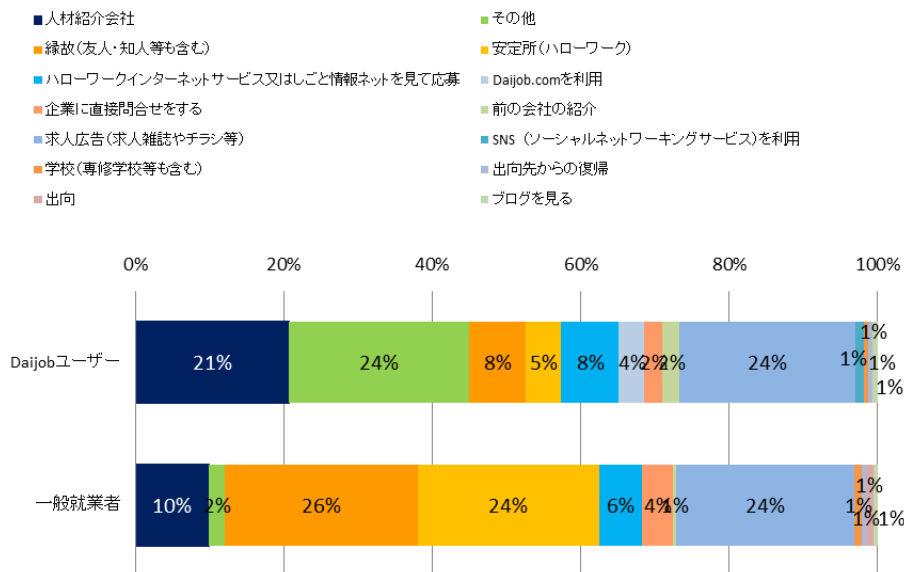
「仕事の内容・職種」「自分の技術・能力が活かせる」といった仕事内容を重視する回答が Daijob ユーザー、一般就業者共通して半数を超えることが明らかになった。一方 Daijob ユーザーと一般就業者の転職先の決め手の違いとして、「労働条件（賃金以外）がよいから」、「転勤が少ない、通勤が便利だから」と回答する一般就業者の割合は Daijob ユーザーの 2 倍以上。逆に「会社のグローバル度（外国人率など）」と回答した一般就業者は 0%と、仕事内容以外の外部環境に於いては Daijob ユーザーと一般就業者の転職先決定の際の決め手の違い現れた。



⑤転職の経路

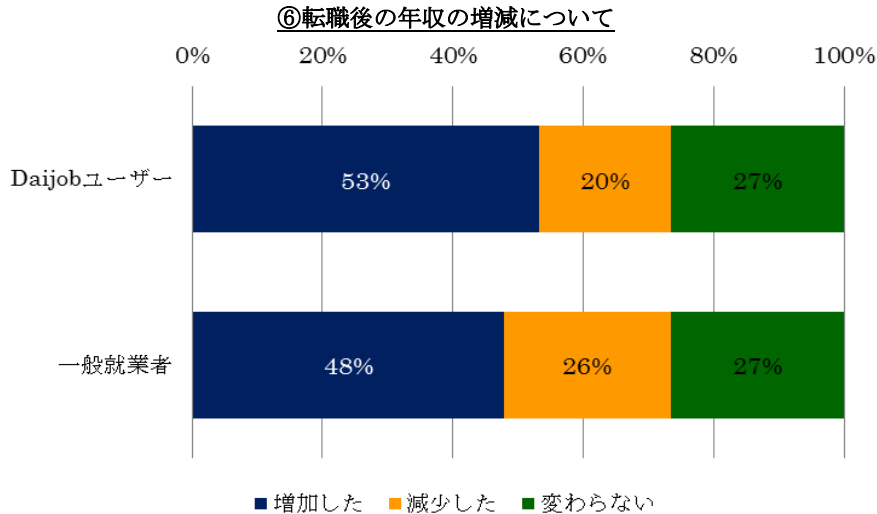
Daijob ユーザーでは、「その他」という回答を除くと「人材紹介会社」や「求人広告」の割合が多いのに対し、一般の就業者の回答は「求人広告」に加えて「縁故」、「ハローワーク」という回答が目立つ。

⑤実際に転職に至った利用方法比較



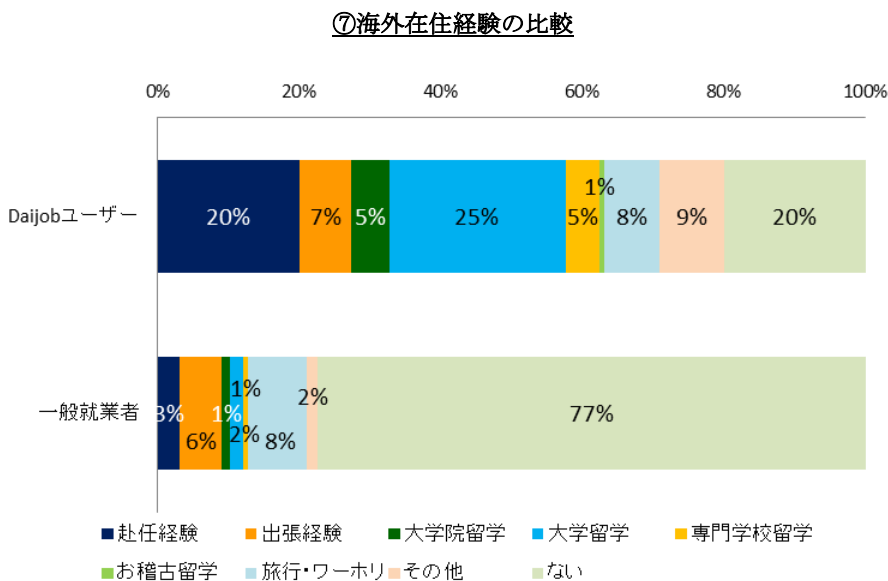
⑥ 転職後の年収の増減

転職後の年収については、Daijob ユーザーの 53%は「増加した」と回答。次いで 27%が「変わらない」、20%が「減少した」と回答した。一般の就業者では 48%が「増加した」と回答しており、Daijob ユーザーも一般モニターも約半数は給与が前職より増加している。



⑦ 海外赴任、留学経験の有無

Daijob ユーザーの 80%が何らかの海外経験があり、最も多かったのが「大学留学」で 25%、次いで「赴任経験」 20%という結果に対し、一般の就業者 77%は「経験なし」と回答した。Daijob ユーザーの内、海外赴任、また留学経験がある方に渡航先を尋ねると、北米が一番多く 41%、次いでヨーロッパ 25%、アジアが 21%という結果となった。また渡航先を 2 カ国以上回答したユーザーは全体の 24%となった。



⑧休日の過ごし方

Daijob ユーザーと一般の就業者の休日の過ごし方 TOP10 を比較してみると、いずれも一番多いのは「旅行・観光」であった。Daijob ユーザーで2位、3位にランクインしたのは「友人等とカフェや飲みに行く」「映画鑑賞」、一般の就業者では「映画鑑賞」、「読書」となった。また「英会話（語学）」という回答が4位にランクインしたのは語学に対してモチベーションの高い Daijob ユーザーの特徴と言える。

⑧休日の過ごし方比較

	Daijobユーザー	一般就業者
1位	旅行・観光	旅行・観光
2位	友人等とカフェや飲みに行く	映画鑑賞
3位	映画鑑賞	読書
4位	英会話（語学）	音楽鑑賞
5位	読書	ドライブ
6位	音楽鑑賞	ゲーム
7位	買い物	買い物
8位	交流会に参加する	スポーツ
9位	スポーツ	友人等とカフェや飲みに行く
10位	料理	写真、カメラ